永農通巻第52号
平成28年3月1日発行

旭農

旭川農業高等学校
同窓会　機関誌

旭農高校の教育の充実を

第八代同窓会　会長
福島堅一（35 Ab）

旭農同窓会会員の皆様の更なる活躍を祈念しつつ新年を迎え今年こそ希望を達成できる活動を期待するところであります。

昨年は世界を震撼させる事件、事故、災害が多発しました。

今、地方創生が大きく取り上げられながら、一方ではオリンピックの開催、また巨額の投資によるリニア新幹線建設で沸き上がっておりますが、北海道ではJR路線が次々と廃線になり、また災害による路線復旧が放置されるなど問題が山積みです。加えてTPPによる北海道農業、関連産業への打撃は多大であり、国の対策が急がれると共に、永年大変な努力のもとに築かれた産業、とりわけ農業においては厳しい国際競争の中で経営の一大改革が迫られています。そんな中で旭農高の農業教育は、将来の産業担い手育成に大きな課題を抱えています。今母校の生徒達の活躍とその実績はすばらしいものと同窓生として大きな誇りであります。

今、文科省、北海道教育委員会では小、中、高校に至るまで「食育、木育」等を教育の基本として「食は生涯を通して、健康でいきいきと暮らすために欠かせない命の源であると共に、食事の楽しさから心豊かにしてくれる大切なもの」として事業を推進していますが、今、旭農高の生徒の皆さんの取り組んでいる勉強はこれら事業の推進に大きく寄与するものと期待するところです。

また学校を取り巻く地域との連携による、学校経営、教育を推進するコミュニティースクールの普及推進にも地域の皆様の理解と協力をいただいている旭農高教育も、これらのモデル校として各地支部等で活躍されている同窓生の皆様にも深いご理解とご協力をお願いしたいと思います。

「教育基本法」に掲げる「人格の完成と国家社会の形成者として必要な資質を備えた、国民育成を目的とした高校教育」を目指した教育活動の展開を、同窓会として強く望むところであり、また支援を惜しまないところです。

九十年を越える輝かしい伝統と歴史を受け、さらに大きく発展させて次世代に引き継いでいくために、末永く同窓会活動の更なる充実と発展を計り、母校への援助、支援の輪を広げていくために同窓生の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。母校の充実発展と同窓生のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

ご挨拶

第二十六代　校長
畠山佳幸

永農・旭農同窓生の皆様には、日頃より本校の教育推進のために一方ならぬご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝いたします。さらに、同窓会活動につきましても各支部の「総会」・「同窓生の集い」等、精力的に開催され、同窓生の皆様が交流を深められ、絆をより強固なものにされていることを心強く思っているところです。

さて、農業高校である本校は、将来の地域産業の担い手育成を目指し、実践的、体験的学習を展開しております。また、地域の方々から愛される中で、社会の様々な分野で活躍する卒業生を数多く輩出し、輝かしい歴史を築いてきました。本校には素晴らしい数多くの教育財産がありますが、それは、同窓生の方々が守り続けてきた伝統、地域の方々の思い、また、校訓「誠実・勤労・剛健」の精神も受け継がれております。常にこうした宝物を大切にしながら、多くの問題が山積する近未来を自ら課題を見つけ解決する力、新しいものを生み出し未来を切り開くことのできる人材を育成すべく微力ではありますが、諸先輩方に少しでも近づくよう心豊かな人事の育成と旭農で学ぶ生徒達が夢と誇りをもって活き活きとした学校生活を送れるように教職員一丸となって努めているところです。

また学校の様子ですが、各種販売会（花卉・野菜・米・農産加工品・乳肉加工品・木工製品等）の実施、地域との交流学習（保育園、小学校）、農業クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動、部活動等も地域の方から評価をいただいております。このような様々な活動の支援となって御座います同窓会からの「教育振興基金」があり生徒達が充実した活動が行えていることにも感謝申し上げます。

終わりに、今後も魅力ある学校としてさらに発展し、生徒に夢と希望を与えることができる教育、生徒達が母校に誇りを持ち、母校を自慢できる学校づくりに教職員一同努めて参る所存でありますので、今後とも本校の教育活動にご支援とご協力をお願い申し上げて校長の挨拶といたします。

旭農同窓会総会及び集いについて（報告）

同窓会 幹事長
山川 勝（38 Ab）

旭川農業高等学校同窓会総会が、支部長及び支部代議員の出席のもと1月30日旭川市内にて開催されました。

福島堅一会長（S35）から、先輩諸氏のたゆまない努力により築かれた母校が93年の歴史を迎えるなか、母校が多方面に亘り素晴らしい活躍をされていることは、同窓会として高く評価するとともに同窓生の誇りにするところです。さらに後輩の活躍に期待し全国の同窓生に48支部を通して卒業生への支援をお願いしたい挨拶がありました。

総会議長に、高井優（S46）愛別支部長を選出、平成27年事業報告、決算報告、監査報告、新年度事業計画案、予算案について満場一致承認され、平成29年の同窓生の集い当番期は、実行委員期に54年卒期を中心とし平成29年1月28日に開催が確認されました。

平成28年永農・旭農同窓生の集いは、木下忠行実行委員長（S53鷹栖支部）の挨拶で開催、参加者275名が吹奏楽部の演奏後、なつかしい同窓生と和やかに懇親をはかり、当番期を中心とした卒業記念アルバムから抜粋した懐かしい木造校舎や学校行事、部活動、修学旅行などが映し出されるたびに歓声が上がっていました。最後は荒井泰史事務局長（S63）の音頭で、「永農歌」、「旭農校歌」を全員で合唱、学生時代の青春を思い出に閉会いたしました。

●平成27年決算・平成28年予算案

項目		H27決算	H28予算	適用
繰越金		564,863	609,012	
正会員会費		936,000	972,000	卒業生162名×6,000円
雑収入		110,488	466	利息・集い残金
基金運用益金		2,195,322	2,195,322	国税・地方税除く
合計		3,806,673	3,776,800	
事務費	備品費	0	20,000	
	通信費	18,707	20,000	切手はがき
	印刷費	0	20,000	インク・紙
	消耗品費	9,910	20,000	事務用品
	幹事活動助成費	50,000	50,000	校内幹事5名
小計		78,617	130,000	
事業費	機関誌	255,212	300,000	印刷送料
	卒業記念品費	149,339	160,000	印鑑ケース
	慶弔費	22,368	60,000	弔電・生花・香典
	諸費	178,000	300,000	支部総会祝儀
小計		604,919	820,000	
役員手当		110,000	110,000	役員11名
旅費		494,450	600,000	総会・支部総会等
会議費		99,895	200,000	総会会場費
予備費		109,780	216,800	集い助成他
教育振興助成		1,400,000	1,400,000	本校助成
支部活動費		300,000	300,000	支部総会助成
小計		2,514,125	2,826,800	
次年度繰越		609,012		
合計		3,806,673	3,776,800	

●平成28年 教育振興基金（国債運用基金額 145,000,000円）

基金額	利息	税金	基金運用益金
	2,755,000	国税 421,928	
		地方税 137,750	
合計	2,755,000	559,678	2,195,322

●平成27年事業報告（H27.1.1～H27.12.31）

1月13日	役員会・会計監査　集い実行委員会
1月31日	平成27年同窓会総会　同窓生の集い
2月27日	役員会　同窓会入会式
3月 1日	第67回卒業式出席　機関誌第51号発行
4月 8日	平成27年度入学式出席
11月28日	役員会　集い実行委員会
12月19日	役員会　集い実行委員会

■支部総会参加：東鷹栖・旭川東・旭川北・末広・鷹栖・当麻・東旭川・神居・愛別 札幌・東京・十勝・上富良野・苫小牧

●平成28年事業計画（H28.1.1～H28.12.31）

1月16日	役員会・会計監査　集い実行委員会
1月30日	平成28年同窓会総会　同窓生の集い
2月29日	役員会　同窓会入会式
3月 1日	第68回卒業式出席　機関誌第52号発行
4月 8日	平成28年度入学式出席
4月～	役員会開催・支部活動支援 教育振興基金助成・同窓生の集い開催 母校諸行事後援・母校生徒会農業クラブへの後援

農業科学科

そば打ち段位検定

2年生作物永山小5年生田植指導

4学科1年生田植え

食品科学科

あったか旭川まん販売

米粉班実習中

合同即売会

旭農近況報告

教頭　赤穂　悦生

同窓会会員の方々には、日頃より母校の教育活動へのご支援、ご協力を賜り、様々な面からお力添えをいただいておりますことに、この場をお借りして、心より感謝申しあげます。

さて、同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の状況等を報告させていただきます。

今年度も野球部を始め、多くの部活動が活躍しているとこですが特に農業クラブの活動ではプロジェクト活動において米粉班とササ班が26年度の全国大会から北海道の代表として連続出場を果たしています。

そして、2月に行われた農業クラブ全道実績発表大会において米粉班と中華まん班が最優秀となり、10月に大阪府で行われる全国大会に北海道代表として出場します。米粉班については3連続の全国大会出場となります。今や北海道の農業高校を牽引する農業クラブ北海道本部校としての実力を大いに発揮しているところです。

また、部活動や農ク活動以外にも様々なイベントや販売会等の連携事業において、旭農生の活躍する姿が見られ、関係機関や市民から厚い信頼が寄せられています。

【全国大会】

◆スキー部

第65回全国高等学校スキー大会
（クロスカントリーの部）
2F渡邊大地
1M窪井ゆかり
第28回全国高等学校選抜スキー大会
（クロスカントリーの部）
2F渡邊大地
1M窪井ゆかり

◆農業クラブ

（群馬県／10月21日～22日）
優秀賞：農業鑑定競技
食品　2M中村優花
林業　3F遠藤隼
優秀賞：平板測量競技
3F前澤匠
3F山田大輔
3F山川勇介
3L堀川瑠菜

全校生徒数

（平成28年2月1日現在）

学科名	1年生			2年生			3年生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	23	17	40	13	26	39	18	23	41
食品科学科	5	35	40	7	31	38	5	35	40
森林科学科	31	9	40	38	1	39	33	7	40
生活科学科	0	39	39	1	39	40	0	41	41
合　計	59	100	159	59	97	156	56	106	162

出身市町村別生徒数

（平成28年2月1日現在）

全校生徒は、477名（男子36％、女子64％）、出身市町村別に見てみると旭川市の生徒が非常に多く、全体の77％の割合になっています。

市町村	生徒数	市町村	生徒数
旭川市	370	鷹栖町	15
東川町	11	美瑛町	10
東神楽町	8	比布町	7
上川町	1	和寒町	5
当麻町	30	その他	9
愛別町	11	合計	477

進路動向

（平成28年2月1日現在）

道内高校生の12月末就職内定率は86.3％と前年比3.7ポイント上昇しました。本校も左図のとおり就職未決定者5名ですので、今後とも進路指導部を中心として、卒業まで全員の進路決定と、1・2年生には早期からの進路指導を心がけていきます。

	希望者数	決定者数	決定率
進学	64	64	100.0%
就職	96	91	94.7%
自営	2	2	100.0%
全体	162	157	96.9%

◇吹奏楽部定期演奏会

◇野球全校応援

◇野球当番校入場行進

◇野球始球式

森林科学科

担い手支援講習

小型建設機械講習

アウトドア実習

生活科学科

切花収穫

旭農レストラン

花フェスタ札幌 ガーデニングコンテスト

支部だより

岩見沢支部総会の報告

岩見沢支部長　**髙橋義輝氏(50H)**

昨年11月21日に岩見沢市内で、本会員5名、特別会員3名計8名で開催しました。引き継いだときは多数いた会員も、諸事情で四年ほど空いてしまったので連絡が取れなくなった会員の方もおりました。今後は、一人でも多くの参加を呼びかけてまいりたいと思います。写真は、安田恭一・横山弘・瀬戸廣明前校長を交えて。

岩見沢支部総会

永農・旭農同窓会本部役員・幹事

会長	福島　堅一	(35Ab)
副会長	三宅　愛子	(35H)
副会長	長勢　孝志	(40Aa)
副会長	星　秀隆	(47H)
常任理事	高嶋　守	(35F)
常任理事	菅野　孝夫	(44Aa)
常任理事	千葉かよ子	(50L)
監事	牧野　勝頼	(39Ab)
監事	松原　朗	(48Ab)
幹事長	山川　勝	(38Ab)
事務局長	荒井　泰史	(63Aa)
事務局会計	佐藤　広人	(52Ab)
事務局書記	伊藤　利浩	(63F)
事務局	斉藤　睦	(57H)
事務局	伊藤　吉則	(55H)
事務局	野田　嘉明	(61F)

〈事務局〉旭川市永山町14丁目153 母校内
TEL(0166)48-2887・1320 FAX48-1360

平成29年 会員多数ご参加ください
永農・旭農同窓生の集い

開催日	平成29年1月28日(土)
時間	15:00～
場所	アートホテルズ旭川
顧問期	39・44・49(卒期)
実行委員長	三浦義昭(54Ab)
委員長期	54(卒期)
当番期	59・H元・H6・H11・H16 H21・H26(卒期)

編集後記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻第52号)をお届け致します。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申しあげます。機関誌「旭農」は同窓生皆さんの「絆」であり「広場」でもあります。更に伝統ある旭農会の歩みを刻み、歴史の一頁にしたいと思います。

同窓生各位のご健康とご多幸を母校よりお祈り申しあげます。

逝去された会員の皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文責　事務局出版)

永農・旭農同窓会　支部組織役員一覧

(平成28年3月1日現在)
※職域支部廃止(平成22年総会決議)

支部名	支部長名(卒期)	郵便番号	住所
旭川中央	安田　佳正(59F)	070-0023	旭川市東3条6丁目3-8
旭川東	飛騨野正幸(37Aa)	078-8234	旭川市豊岡4条5丁目1-7
旭川北	奥山　義三(41F)	070-0864	旭川市住吉4条2丁目7-8
永山東(支部長代理)	谷田　義一(27Aa)	079-8417	旭川市永山7条19丁目3-22
永山西(事務局長)	松原　朗(48Ab)	079-8420	旭川市永山10条9丁目1-7
東旭川	森定　一二(36Ab)	078-1272	旭川市東旭町豊田565番地
旭正	谷口　威裕(42Aa)	078-8340	旭川市東旭川共栄255番地
東鷹栖	柿林　孝志(42Ab)	071-8152	旭川市東鷹栖2線14号641番9号
末広	岡　康弘(29H)	071-8136	旭川市末広6条1丁目6-17
神居	上楽　隆利(35Ab)	070-8013	旭川市神居3条8丁目1-2
神楽	辻　義照(26Fc)	070-8007	旭川市神楽7条9丁目2-5
西神楽	山本　哲夫(35P)	071-0181	旭川市西神楽1線15号
江丹別	橋本　祐一(24F旧)	070-8051	旭川市江丹別町嵐山54
上川	髙橋　義久(38F)	078-1744	上川郡上川町北町34番地6号
愛別	髙井　優(46Ab)	078-1401	上川郡愛別町字愛別1324番地
和寒	中道眞佐義(46Ab)	098-0113	上川郡和寒町字菊野
当麻	角谷　真一(45Aa)	078-1331	上川郡当麻町中央6区
比布	伊藤喜代志(48Ab)	078-0321	上川郡比布町北1線4号
鷹栖	加藤　敏昭(44Aa)	071-1261	上川郡鷹栖町21線15号
東川	鬼塚　嘉幸(20Ab)	071-1437	上川郡東川町東7号北29番地
東神楽	堤　義彰(48Ab)	071-1547	上川郡東神楽町17号南7
美瑛	照本　清光(36Aa)	071-0226	上川郡美瑛町美沢共立
富良野	岸本　和彦(48H)	076-0046	富良野市北斗町
(連絡先　幹事)	土橋　頼浩(H4F)	076-8555	富良野市弥生町1番1号(市役所 農林課)
中富良野	安井　士八(43Ab)	071-0700	空知郡中富良野町東5線北15
上富良野	工藤　次郎(46F)	071-0526	空知郡上富良野町東6線北16号
士別			
名寄	和田　敏明(45Aa)	096-0017	名寄市西7条南10丁目
札幌	伊林　好(44Ab)	004-0031	札幌市厚別区上野幌1条3丁目9-13
岩見沢	髙橋　義輝(50H)	068-0808	岩見沢市南町8条4丁目8番9号
滝川	清造冨二夫(33Ab)	073-0023	滝川市緑町2丁目1番15号
深川・沼田	冨田　修(45Aa)	074-0015	深川市深川町字メム5号線山1線
留萌	橋村　博(55Aa)	078-3457	留萌郡小平町字大椴311番地
芦別			
北見	深谷　正信(30F)	090-0035	北見市北斗町3丁目7-11
網走	春田　淑郎(28Fa)	093-0042	網走市潮見9丁目7番4号
紋別	本田　勝樹(37H)	093-0731	紋別郡湧別町字芭露260番地
十勝	酒井　末治(32F)	080-0021	帯広市西11条南24丁目3号
苫小牧	工藤　隆(46F)	053-0042	苫小牧市三光町3丁目11番1号
日高	柏崎　雅(25Ab新)	057-0034	浦河郡浦河町堺町西5丁目2-15
幌延			
遠別			
浜頓別	東雲　良三(22Fb)	098-5721	枝幸郡浜頓別町南1番1号
枝幸			
苫前	柴田　雅紀(H1Aa)	078-3637	苫前郡苫前町字九重
釧路・根室	池田　昌己(50F)	084-0910	釧路市昭和中央2丁目13-16
道南	山本　慎二(32Aa)	041-1111	亀田郡七飯町本町246番9号
倶知安			
東京	鈴木　晟督(33Ab)	359-0001	埼玉県所沢市下富1056-27